

# 生ごみ処理機を使ってごみ減量を!



ごみ減量において、生ごみの減量は非常に効果的です。また、生ごみ処理機で処理することにより、カラスや猫などの被害を予防することもできます。市では、生ごみ処理機購入費助成制度により購入費の一部を助成しています。生ごみ処理機を使ってみませんか? 手続きの流れを簡単にご案内しますが、まずは清掃課にご相談ください。

※電動式生ごみ処理機の場合、購入金額の半額を補助し、上限は18,000円となります。ただし、粉碎のみを行うディスプレイザー型は補助対象になりません。また、平成21年度からは、非電動式の生ごみ処理機も対象とし、購入金額の半額を補助し、上限は3,000円となります。

- ① 購入前に清掃課で申請してください。
- ② 申請後30日以内に購入してください。
- ③ 購入後、領収書・製品保証書・振込先口座番号のわかるもの・印鑑を持って清掃課で請求手続きをしてください。

●平成20年度は33名の申請があり、うち30名の方からアンケートのご協力をいただきました。

お使いのタイプは? ●パイオ型 3人 ●乾燥型 27人

※パイオ型: EM菌と言われるような微生物を定期的に投入し、生ごみを発酵分解するタイプ。乾燥型: 加熱することで生ごみを乾燥処理して減容するタイプ。

使用している時期は? ●通年 29人 ●その他 1人(暑い日)

処理後に残ったものは?

- 堆肥などに利用 12人
  - 可燃ごみとして処理 15人
  - 堆肥と可燃ごみ両方 3人
- ※堆肥利用の方法としては、花などを植えるときに土と混ぜて使っているといった回答でした。

利用して困ったことは? (複数回答)

- 特になし 15人
- においがする 12人
- 音がうるさい 8人
- ランニングコストが高い 7人
- その他 9人(乾燥に時間がかかる、室内に置くと室温が上がり夏は暑くなる、少し焦げたような臭いがするなど)

## 【自由意見】

- 生ごみがほとんど出なくなるので、可燃ごみがかなり減る。においを気にせずごみをためてから捨てることもでき、カラスなどに荒らされることもないと思う。
- 可燃ごみのごみ捨ては月に1~2回で済むようになって、かなり便利。
- 寝る前に処理機のスイッチを入れ、朝には処理が完了、毎日手間無く処理できるので家の中が清潔に保てる。
- 独特なおいと音が気になる。
- ランニングコストが高い。など

※毎年の利用者アンケートによると、生活環境や生活スタイルに応じて適切な機種を選ぶ必要があるようですが、生ごみ処理機によってごみが大幅に減量されていることは間違いありません!

# 平成20年度ごみ処理関係費総額約14億円!!その内訳は...

前回号では、平成20年度のごみ及び資源物収集量の推移や品目ごとの処理費用などについて紹介しました。今回は、ごみ袋の有料化をスタートした前年の平成16年度から20年度までの年度別ごみ等処理費用の総額とごみ袋の販売収入がどのように推移しているかについて紹介していきます。今回の内容を見ていただければ、狛江市のごみ問題をわかっていただけと同時に、これまで達成してきた減量状況はもちろんだ、今後更に減量に努めなければならない状況にあることもわかっていただけだと思います。また、ごみの減量がどれだけ市民の方々にどれだけメリットのあることか!! それでは内容に入っていきますよ!!

ごみ袋の有料化を開始した平成17年10月以降、可燃ごみと不燃ごみの収集量は毎年度着実に減量しています。ごみ袋の有料化を導入すると、ごみ袋を購入することに負担感を感じて分別が徹底される傾向となり、資源物の収集量が増加する方向に転じることで一般的のようですが、狛江市においては資源物の収集量も減量傾向にあります。これは狛江市民のごみ減量に対する意識の高さはじつじつとあらわす現象と言えます。



発行 狛江市建設環境部清掃課  
〒201-0004 狛江市岩戸北1-1-11  
狛江市ビーン・ネリサイクルセンター内  
☎03-3488-5300(直通)

# 狛江市ごみ半減新聞

## K O M A E

Vol.35 平成22年2月

ごみ減量の最大の目的は、日の出町にある最終処分場の延命であることは度々お話ししていますが、自分が出したごみなどのように処理されているか知らない(興味がない)方は表情を理解してごみ減量を実現することは難しいと考えられています。しかし、最終処分場の利用期間に先が見え始めてきた状況では、時間的な余裕は無く、ごみ減量を実現する必要に迫られています。このため、有料指定収集袋を購入してもらうことによって、ごみを出せばお金(処理費用)がかかるという現実感を感じてもらい、ごみ減量を実現しようという考え方で、ごみ袋の有料化を導入した経緯があります。その結果、狛江市民にどういったメリットが有るのか...

ごみ袋有料化以前も今も、狛江市民が出したごみの処理費は狛江市民が納めた税金で賄っています。しかし、有料化以前は、納めた税金の中からごみ処理にかかる費用を全て賄っている中で、汎山ごみを出して処理費が莫大な金額になっても実感としてわかない状況でした。次の3項目で詳しく紹介していきますが、ごみ袋有料化前年度の16年度と直近の20年度とを比較して、ごみ処理全般にかかる費用がどうなっているのでしょうか? ごみ減量により約2億3千万円の削減に なっています。ごみ処理以外の皆さんの生活にかかる施策に2億3千万円を使えるようになった



ということですが、私たちの生活の中の「むだ」の部分から「むだなごみ」がどれだけ出されていたのかと見ることもできます。一方で皆さんが購入しているごみ袋の販売収入は、20年度の実績で約2億円となっており、このお金はごみ処理関係費のうち、今後更にごみ減量を実現するための施策や、清掃工場及び最終処分場の負担金などに当てられています。この2億円のお金は、ごみを出す量に応じてごみ袋を購入しているの、排出量に応じた費用負担ということ、公平性が保たれています。しかし、忘れてならないのはあくまでも「部分」についての直接負担であって、間接負担部分が圧倒的に多いということです。間接負担部分を削減するためには、さらにごみ排出量削減を実現する必要があります!!

次項からは、ごみ処理関係の歳入と歳出を年度別に少々細かく紹介していきますのでご覧ください。